ながす議会だより　No.133

潮さい

平成30年
第1回（3月）定例会

一般会計予算等　②～⑨
常任委員会等視察研修報告　⑩
一般質問　９人が登壇し町政を問う　⑪～⑲

友だちいっぱい作りたいな!!
～4月10日　六栄小学校入学式～

未来に誇れるまちづくりを

平成30年度一般会計予算 総額72億9000万円 可決

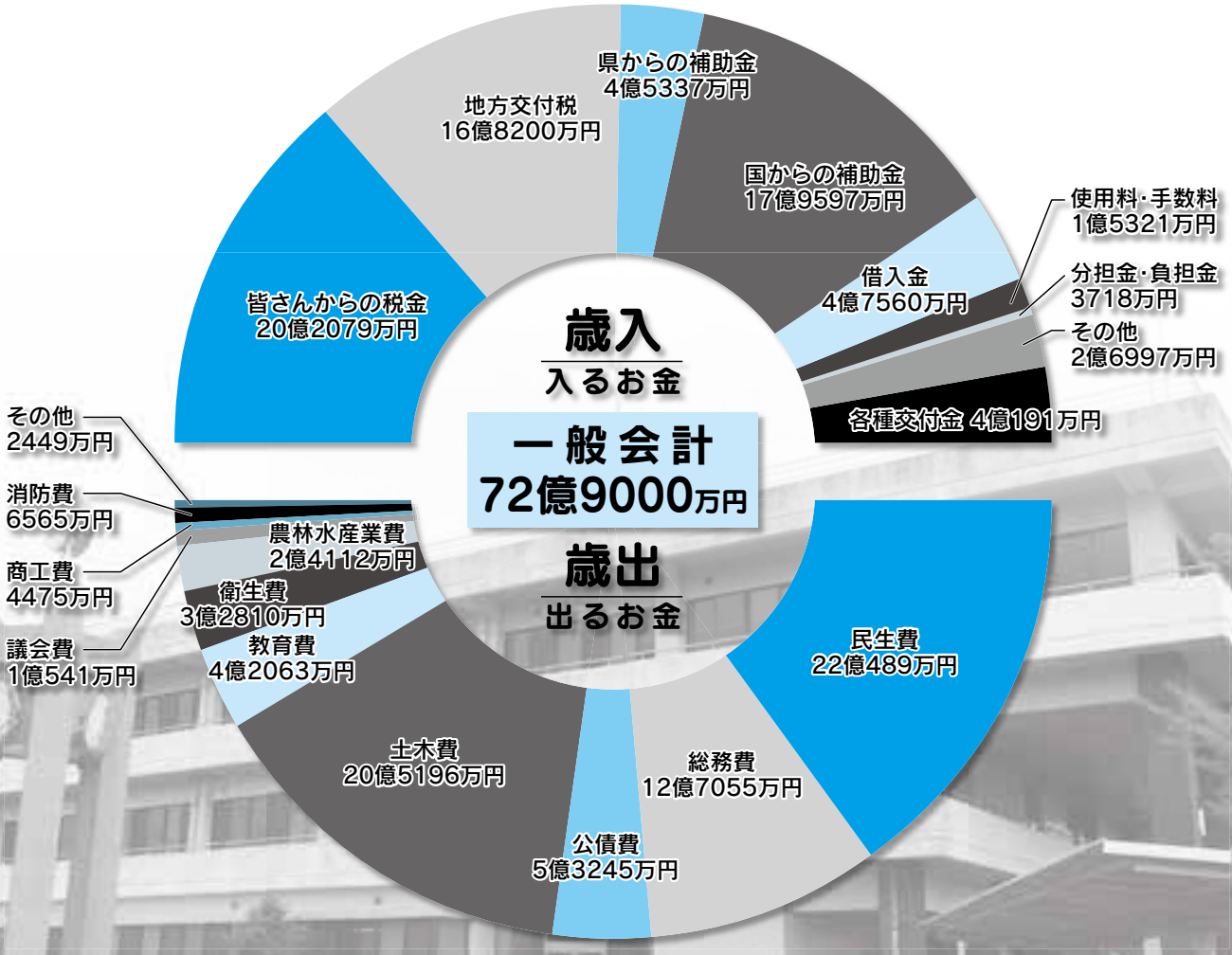
今年度の特徴

本年度は、英語検定料の補助事業の実施や寺子屋学習塾、ふるさと塾のさらなる充実、瀬戸市との小学生の交流事業などを初め、ホームページのリニューアルや地域商社設立による地域資源を活かした商品開発や販路拡大など人づくりや活力のあるまちづくりが期待される町の現状を踏まえた予算である。

第1回定例会
（3月12日～19日）

町長から提案された議案等は20件で、平成30年度各会計予算（6会計）ほか条例の制定・改正、補正予算、人事案件などを審議し、19議案可決し、1議案否決した。

今定例会では、延べ42人の方々が傍聴された。



主な質疑（歳出）

総　務　費

●まちづくり　●徴税
●公共交通　のために……12億7055万円

問（前田議員）
地域おこし協力隊報償費の内容は何か。

答（まちづくり課長）
町で都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、農林水産業をはじめ住民の生活支援などの各種地域協力活動に従事してもらいながら、町への定住・定着を図るもので、今年1名委嘱する予算である。

問（中川議員）
ふるさと納税ポータルサイト使用料162万円の内容を伺う。

答（まちづくり課長）
ホームページ上のいろんなサイトがある。30年度は、「楽天」や「ヤフー」のサイトを活用し、ふるさと納税の増加を目指すが、10%程度の手数料や事務費を計上している。

問（大森議員）
庁舎エレベーター設置工事設計委託だがどのような形でこれだけの予算が要るのか。

答（総務課長）
公共施設のバリアフリー化を目的として今後、場所を検討するが議場から外れたところから3階まで上がるものを考えている。11人乗りぐらいで財源は地方債を活用し、30年度に設計して31年度工事になる。

問（竹本議員）
地方創生で年度により加速型、推進先行型と変化がある。この事業は、いつまで続くのか。

答（まちづくり課長）
国が地方創生の交付金に関する名称をその時期において変更している。まち・ひと・しごと創生推進法をつくっており、法律がある限り事業はある。

問（福永議員）
地域商社運営補助金と支援業務委託料だが、地域雇用創造協議会が解消されて発展した形ならば、この姿はどういうものなのか。

答（まちづくり課長）
支援業務委託等は町からコンサルに委託して運営のアドバイス等をお願いするもので、地域商社運営補助金は地方創生のなかで、町の魅力を発信したり、金魚と鯉の郷広場を活用し、集客を図る等の業務を行う補助金で、会社の概要は一般社団法人として設立を考えている。

主な質疑（歳入）

問（中川議員）
ふるさと納税だが今年度大幅な増額（900万円→6000万円）になっているが。

答（まちづくり課長）
ホームページの納税サイトで申し込みがふえてきている。取り組みを強化して納税額をふやしていきたい。

問（大森議員）
個人住民税は増加の見込みとのことだが社会的要因の人口増減は関係しているか。

答（税務課長）
人口は減少傾向にあるが納税義務者だけを見ると非課税の方が課税になるケースなどあり、全体的に伸びている。

問（磯野議員）
臨時財政対策債を発行しなければ運営は厳しいのか。

答（総務課長）
普通交付税のみでは財政運営は厳しいところだ。できるだけ借りないようにしていきたいと思う。

問（福永議員）
法人税が伸びているが還付金も発生している。法人の企業景気状態はどう考えているか。

答（税務課長）
景気のいい会社とそうでない会社がある。還付金は個別の法人の決算を見るので、どうしても発生する状況だ。

問（福永議員）
交付税が伸びている。その要因は。

答（総務課長）
昨年度、法人税割の過年度還付が生じ、基準財政収入額が減少することになる。個別算定経費における減少分と、基準財政需要額の社会保障費が大幅な増となり、その分で増加となる。

問（濱崎議員）
滞納問題について平等性からしてどうとらえているか。

答（税務課長）
滞納については、財産調査含めて滞納処分等、厳しくしていきたい。生活困窮等で生活再建が必要な方は相談を受けながら皆様が納税できる環境づくりに努めていきたい。

教　育　費

- 子どもの教育
- 生涯学習
- 文化・スポーツの振興

のために…… 4億2063万円

問（荒木議員）
瀬戸市との交流事業とは。

答（学校教育課長）
地域のリーダーを育成する目的で各小学校から代表1名、計4名で3泊4日を考えている。

問（磯野議員）
特別支援教育支援員だが人数も賃金も増えていないようだが。

答（教育長）
学校とも相談して6校10名で了解をいただいている。

問（濱﨑議員）
小学生の交流事業がなぜ瀬戸市なのか。

答（学校教育課長）
現在、観光面や防災協定など交流がある。教育面で交流が出来ないかと考えた。

民　生　費

- 子育て支援
- 児童・高齢者・障害者 } 福祉

のために…… 22億489万円

問（福本議員）
児童福祉総務費の委託料の幼稚園型一時預かり事業委託費の増加要因は何か。

答（子育て支援課長）
30年度より長洲幼稚園とひまわり幼稚園が認定こども園に移行し、両園で預かる子どもの委託料ということで、大幅に増額となっている。

問（竹本議員）
民生費の一般財源が6200万円も増えている。どのような要因を見込んで、民生費の予算が増えたのか。

答（福祉保健介護課長）
障害福祉サービス、児童へのサービス、障害自立支援、障がい児の通所サービス等が増加要因である。

答（子育て支援課長）
長洲幼稚園とひまわり幼稚園が認定こども園になり、施設型給付費に上乗せされるので、そこが増える要因になる。

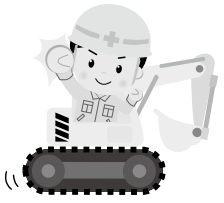
問（竹本議員）
町道の赤田・上沖洲線はどこからどこまでを考えているか。

答（建設課長）
現在は、名石浜の入口から県道長洲・玉名線までが供用されているが、そこから将来的となると、そのまま北に上がり、荒尾を通って208号線まで続くよう協議していく。

問（濱﨑議員）
道路新設改良で道路改良工事が計上されているが、よけの上が冠水したことはないのか。

答（建設課長）
冠水による被害は把握していない。

土　木　費



- 地域優良賃貸住宅
- 道路
- 港湾
- 公共下水道

のために…… 20億5196万円

問（大森議員）
橋梁長寿命化修繕計画の見直しは、何年に1回行うのか伺う。

答（建設課長）
前回、長寿命化計画を24年3月に策定している。その後、法律の改正で5年に1度の点検が決まった。点検方法も遠方目視から近接目視になっている。

その他の予算

- 議会費（議会活性化）‥‥1億541万円
- 衛生費（地域医療）‥‥ 3億2810万円
- 商工費（商業の振興）‥‥‥ 4475万円
- 消防費（防災）‥‥‥‥‥‥ 6565万円
- 公債費（借金返済）‥‥ 5億3245万円

のために

問（大森議員）
消防費のＪアラートが新型受信機に変わるが、何年ごとに更新されるのか。

答（総務課長）
31年度から国の情報発信データが即時に町に入るように、全面的に改修する。

問（荒木議員）
し尿くみ取りの委託料が2千万円少なくなっている理由は。

答（住民環境課長）
し尿くみ取り量は下水道水洗化の普及などで、くみ取り量が減少している。現状、2台で行っているがその収集能力からすると、必要な収集車の台数は1に近い状況にあり、委託業者との協議が整い委託料は1台分の費用で計上し減額になっている。

問（中川議員）
商工費で観光案内板設置工事費で400万円計上があり、場所が2カ所になっているが場所は決定しているか。

答（まちづくり課長）
場所は有明フェリーからの利用が多いので、そのような方々の誘導と、金魚と鯉の郷広場への誘導、町内をわかりやすく表示していきたい。

問（大森議員）
的ばかい事業補助金だが、的ばかいは町の事業か。政教分離で困ることはないか。

答（まちづくり課長）
的ばかいは保存会が実施する事業で、神事的なものもあるが、観光ＰＲ等行うため補助金として支出している。

問（磯野議員）
公債費で一時借入金利子が計上されているが、これは一時借入ありきで計上しているのか。

答（総務課長）
一時借入金として最高額10億円を定めるということで、いざという時のために計上している。

農林水産費

- 農業の振興
- 水産業の振興

のために‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 2億4112万円

問（中川議員）
金魚と鯉の郷広場の植物管理委託費が640万円から533万円に下がったが理由を伺う。

答（まちづくり課長）
昨年は高木剪定で高くなっていた。

問（福本議員）
農業振興で担い手育成緊急支援事業補助金の負担割合は。

答（農林水産課長）
県の補助があり1/2以内の事業である。

問（大森議員）
農地費の多面的機能支払事業交付金の内容と配分を伺う。

答（農林水産課長）
多面的機能の支払事業交付金は、国と県の補助が入っており、町も1/4出している。12の組織で活動しており、主に農業振興地域の水路の手入れ、草刈り等を行っている。

問（福永議員）
負担金補助金及び交付金だが、計上する時に協議会とか部会と事前に話をして予算額を決めているのか。

答（農林水産課長）
部会の方とか、ＪＡと町で話をする場合もある。

問（濱崎議員）
きんぎょ村の運営費、昨年は16万円の予算計上だったが、30年度はどういう計画か伺う。

答（農林水産課長）
予算は昨年と比べ2万5千円増えているが、町の直営で管理する。また産学官の連携で大学あるいは専門学校とも施設の利用に関して話をしていく。

賛成　討論（議案第13号 一般会計予算）　反対

浦邊　朝章　議員

予算の内容を見ると、英語検定の補助事業をはじめ教育環境整備の次のステージとして、未来を開く人づくりを考えている。また、観光分野でのきんぎょの館の情報発信力を強化し、ホームページのリニューアル、地域商社設立による地域資源を生かした商品開発等、町の資源を最大限生かした活力あるまちづくりにつながるものである。人口減少等の影響で自主財源の確保が困難となる中、課題解決の予算措置がなされている。それぞれの分野の事業が大きく飛躍することを期待し賛成討論とする。

大森　秀久　議員

民生費や農林水産費、消防費など町民の暮らしにつながりが深いところで増額がされているところは評価できる。また、就学援助の新入学用品費の入学前支給も評価できるが、住宅リフォームへの助成が昨年より１００万円少なく、これに納得できない。また、県の事業である長洲港の整備、港湾建設費について町の負担割合は法的根拠がなく、住民サービスにより多くの予算をあてるべきで、財源確保のために県と負担割合の協議を行い、引き下げを求めるべきである。以上申し述べて反対討論とする。

平成29年度　一般会計補正予算

2億2670万円

可決

補正予算（質疑）

問　**ふるさと納税１６００万円追加と町との関連性は。**（大森議員）

答　約２千数百名の方が納税しているが、長洲町とのつながりは把握していない。（まちづくり課長）

問　**障がい者自立支援介護給付費のどういうところが増えているのか。**（竹本議員）

答　自立支援給付は介護サービス全般にわたるもので日中の生活介護と施設入所支援、社会就労の支援等が増えている。（福祉保健介護課長）

問　**ふるさと納税はいつからいつまでの分が、補正まで含めて決算見込額として出ているのか。**（磯野議員）

答　２月末現在で計上しているが、今も納税は続いている。最終的には追加計上額を上回ると見込んでいる。（まちづくり課長）

問　**総務課の職員手当だけマイナスは何故か。**（福永議員）

答　減額の理由は病気で休んでいる職員等の精算になる。（総務課長）

問　**都市計画事業負担金の起債が３１００万円だが、工事のどこの分が増えたのか。**（福永議員）

答　ＪＲ線路の上を渡る跨線橋の工事費が主になっている。（建設課長）

問　**工事は全体の何％出来ているのか。**（濱崎議員）

答　事業費での進捗率で、約62％になっている。（建設課長）

平成30年度特別会計 企業会計予算

	会計名		予算額	29年度予算額（当初）	前年度比
特別会計	国民健康保険特別会計		22億4900万円	25億6559万円	88%
	介護保険特別会計		17億4900万円	17億6400万円	99%
	後期高齢者医療特別会計		2億450万円	1億9233万円	106%
企業会計	下水道事業会計	収益的収入	9億1033万円	8億7754万円	104%
		支出	8億8450万円	8億6454万円	102%
		資本的収入	6億8800万円	11億5381万円	60%
		支出	9億7716万円	14億4499万円	68%
	水道事業会計	収益的収入	2億4479万円	2億6242万円	93%
		支出	2億4128万円	2億5463万円	95%
		資本的収入	240万円	1179万円	20%
		支出	7165万円	8963万円	80%

収益的収入：企業の経常的経営活動に伴って発生する収入（下水道使用料、水道料金）

支出：企業の経常的経営活動に伴って発生する支出（浄化センターや水道施設の維持管理費）

資本的収入：建設投資などの財源となる企業債、他会計繰入金、国庫（県）補助金などの収入

支出：企業が生産性の向上などのため施設や設置機械などの固定資産を修理・改良し、使用可能期間（耐用年数）を延ばしたり、価値を高めたりするための支出

国民健康保険特別会計

問（福永議員）
前年度と比べて被保険者数は、どれだけ減っているか。

答（福祉保健介護課長）
平成30年2月末で、115名減っている。

介護保険特別会計

問（大森議員）
介護保険制度がスタートして18年目に入るが、保険料の金額はどれぐらい違うのか。

答（福祉保健介護課長）
最初は2900円だった。今は5800円だ。

水道事業会計

問（大森議員）
給水件数は2件増加で、年間給水量は14万540㎥減っているのはなぜか。

答（水道課長）
アパート建設が多くなり、核家族化が要因である。

審議結果

賛成…○　　反対…×　　欠(退)席…欠
＊議長は表決に加わりません。

議案番号	件　　名	前田美和子	中川　雅明	福本みや子	大森　秀久	竹本　信次	荒木　睦子	磯野　博	浦邊　朝章	宮本哲太郎	濱村　芳光	福永　栄助	松井　一也	濱崎　久	徳永　範昭
議案第1号	長洲町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号	長洲町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例及び長洲町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	長洲町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号	長洲町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号	長洲町国民健康保険条例等の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	—
議案第6号	長洲町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第7号	長洲町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第8号	長洲町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第9号	長洲町保育所条例を廃止する条例の制定について	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×	—
議案第10号	長洲町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第11号	長洲町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第12号	平成29年度長洲町一般会計補正予算(第7号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号	平成30年度長洲町一般会計予算について	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
議案第14号	平成30年度長洲町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第15号	平成30年度長洲町介護保険特別会計予算について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第16号	平成30年度長洲町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第17号	平成30年度長洲町水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第18号	平成30年度長洲町下水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第1号	副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第2号	教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

条例制定・条例改正

指定居宅介護支援等の人員及び運営等に関する基準を定める条例の制定

【制定理由】
介護保険法が改正されたため、条例を改正する必要が生じたため。

【質疑】
問　**（大森議員）**
7カ所の事業所がそれぞれ指定を受けている期間があるが、どうなるのか。

答　（福祉保健介護課長）
県の指定をみなしの規定として、町が指導監督し30年4月1日からは町の権限ということになる。

指定地域密着型サービス・指定地域密着型介護予防サービス運営の基準等に関する条例の一部改正

【内容】
国の基準省令の改正に伴い改正するもの。

指定介護予防支援等の運営に関する基準を定める条例の一部改正

【内容】
介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の改正に伴い、この条例を改正する必要があるため。

介護保険条例の一部改正

【内容】
介護保険法等の一部が改正されたことにより、条例の一部を改正するもの。

国民健康保険条例等の一部改正

【内容】
法律の改正により、条例の一部改正。

後期高齢者医療に関する条例の一部改正

【内容】
高齢者の医療の確保に関する法律第55条の2の改正により、条例を改正する必要が生じたため。

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

【内容】
人事院勧告に準じた職員給与の適正化を図るために条例を改正する必要がある。

公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正

【内容】
非公募で指定管理を指定する場合の事務手続を明確にするために、非公募による募集の際は、申請受け付けも非公募選定業者のみにできるよう改正するもの。

保育所条例を廃止する条例の制定

【制定理由】
この条例の制定により、確実な民営化への担保を持って、今後の移管に向けた調整を図っていくため。

【質疑】
問　**（大森議員）**
2年先なのにこの時期に廃止条例を提案する理由が理解できない。2年間の間に、何があるかわからないという気がするが。

答　（子育て支援課長）
課としても懸念している。議会の承認をいただき、今後具体的なことを一つずつ詰めていきたいと考えている。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

【内容】
支給認定書の交付については、保護者から希望があった場合のみ交付、交付をしていない場合は、支給認定に係る事項が記載された通知により行うというもの。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

【内容】
放課後児童支援員の資格要件の範囲が中学校卒業者まで拡大されることから、事業の継続実現における人材確保の観点から、条例を改正するもの。

人事案件

副町長の選任について

平川 一喜氏
（大明神区）

教育長の任命について

戸越 政幸氏
（大明神区）

建設経済文教常任委員会

1月22日㈪～24日㈬

東京都墨田区

●すみだ地域ブランド戦略の推進について

東京スカイツリーの開業を契機に、墨田区の知名度を高め、地域のブランド力を向上させ、優れた商品やサービスを継続的に生み出し、すみだを魅力的なまちにしていくもの。

神奈川県鎌倉市

●クラウドファンディングによる観光施設整備事業

年間２０００万人の観光客があり、整備と運営を行う事業費が不足、インターネットで資金提供を募集、寄付者の名前を記した観光ルート板10基を設置した。

東京都荒川区

●タブレットパソコンの全小中学校導入

ＩＣＴ機器を活用して思考力や問題解決能力、コミュニケーション能力等を身につけるため、タブレットＰＣを全小中学校、一人一台体制で授業等に活用している。

これからの長洲町の施策の参考になった研修であった。

説明を受ける議員（鎌倉市）

総務保健福祉常任委員会

1月29日㈪～1月31日㈬

埼玉県志木市

●いろは健康ポイント事業

歩いたり、運動をしたり、ＢＭＩや体脂肪率が改善した場合などに獲得でき、商品券に交換可能なポイントで、日常生活の中でゲーム感覚で楽しみながら、健康づくりが行える。予算をかけずシステム構築して本町に導入出来ないものか考えていきたい。

東京都国立市

●収納・滞納対策

平成26年４月から債権管理条例が施行され、市では、同条例に従い適正な債権管理を行うことで、市民負担の公平性と財政運営の安定性・効率性を維持するように努めている。本町でもルールを定め、それに従い早期に解決することが、新たな滞納者の発生を抑える事につながるのではないかと考える。

東京都三鷹市

●インターネット子育て支援の取組み

子育て支援ネットワーク、ホームページ「みたか子育てネット」を開設。市民（ＮＰＯ法人）、行政、民間が協力して運営。市ホームページとは独立して開設してあり、子育てに特化した非常に見やすく親切なホームページである。本町でも取り入れられる部分は参考にして頂きたい。

活発な意見交換が展開された（志木市）

議会運営委員会

2月6日㈫～2月8日㈭

茨城県大洗町

●議会活性化への取組みについて

議員の自覚と資質向上を図るために、傍聴席を満員にしようと、町内の各団体に対し議会開催案内と傍聴をお願いするダイレクトメールを発送したところ、傍聴席が満席となり、議場内は議員、執行部とも一気に緊迫感がみなぎり、多くの議員が登壇するようになったと、議会活性化に向けた取組みを進めている。

栃木県塩谷町

●町民全員会議について

塩谷町では、若者が関わらない町政、町外から見て、強い魅力をつくる取組みが行われない状態が続き、次代を担う人々が町を去ることが長年続いていたので、ネット上に「塩谷町民全員会議」を開設し、幅広い世代に、パソコンやスマホから町政に関するテーマの質問に回答してもらい、回答データを町政運営に反映させている。

視察研修を終えて

人口減少と高齢化が進むなか、議会の活性化は大事な課題である。町民の声が議会に反映されるための議会改革を進めていきたい。

議会改革に向けて意見交換（塩谷町）

中川雅明議員

区長選出に苦労している行政区がある

答 認識している

問 最近の区長選出については、苦労している行政区がある。その理由は、仕事が多い、責任が重い等、多々ある。また厚生年金の支給開始年齢も引き上げられ、選出候補者の方も仕事を続けている人が多いようだ。このような現状をどう受け止められているのか伺う。

答 （町長）認識はしている。区長は行政区の代表であり、決断力や人をまとめる能力、事務的な能力も要求される。役員で経験を積んでいただくなどの方法で人材育成を図っていただきたい。町としては、地域のことは、地域で決める地域の自主性を大事と考えている。

行政区の会合風景

問 区の統廃合については、どのような考えを伺う。

答 （町長）地域の自主性、この一言に尽きる。しかし、１００世帯を切っている行政区は、統廃合の必要性を感じている。

問 区長は行政区の長。一方駐在員は町と行政区の連絡、世話役として規則化され、その業務は第４条に10項目記載してある。現在区長の仕事の大半を占めている。そこで、区長でない別の方を駐在員に委嘱した事例はあるか。あるならば、その理由を伺う。

答 （町長）ある。理由は区長さんが体調不良のため。

問 前記のような事例が発生したら、どのように対処していくのか伺う。

答 （町長）過去にもあったが、特別の対応は考えていない。

問 区長職は承諾。駐在員職は不承諾の行政区が発生すればどう対処するのか伺う。

答 （総務課長）駐在員の業務は町にとって重要である。できるだけ駐在員の選出をお願いしたい。

問 駐在員の方が複数の区を担当する体制は考えられるか。

答 （総務課長）駐在員は区の推薦。別の区からの推薦は考えていない。

駅南側には、自転車が乱雑に駐輪されている

答 廃止した西側駐車場、駅広場内への駐輪場設置を検討する

問 長洲駅南側には自転車が乱雑に駐輪されており、町民からも苦情が出ている。町の考えを伺う。

答 （町長）廃止した駅西側駐車場の利用方法や駅広場内での駐輪場設置など利用者の利便性、町民皆様の意見を伺い検討する。

駅南側に駐輪された自転車

一般質問の原稿は、質問者の提出原稿をもとに一部校正しています。

福本みや子議員

電子母子手帳アプリ導入のメリットは

答 母子保健サービスや子育て力向上をめざす

問 電子母子手帳とはどんなものか。

答（福祉保健介護課長）スマートフォンやタブレットのアプリで出産予定日や赤ちゃんの生年月日を登録すると、子どもの成長や妊婦健診の結果や育児の記録が出来る。従来の母子手帳の補完として使用。

問 機能を活かして使うには。

答（福祉保健介護課長）乳幼児健診の記録を入力すれば成長曲線が判る。複雑で多種な予防接種のスケジュール管理が出来る。予防接種の予定が変更になった場合の再計算や接種間違いを失くすために保健師と連携していくのに有効な手段だ。

問 利用者のメリットはあるか。

答（福祉保健介護課長）母親世代のほとんどがスマートフォン対応なので、成長の記録や写真がデーターとして自分で記録保存出来る。また予防接種忘れや間違いを防ぎやすい。

更に医療機関の検索や自治体の子育て情報など欲しい情報が一つの画面で見られる。県下でいち早い導入であり、転入時にも問題はない。

問 母子の健康と成長、子育ての楽しみなどを倍増させる機能性のあるものになるよう導入に期待したい。

自治体と妊婦さん・ママパパをつなぐスグレモノ

高齢者の所得向上に策はないか

問 スタートしたとくし丸事業は、高齢者の収入アップが図られるようだが、意欲がある高齢者へどのような支援が出来るのか。

答（福祉保健介護課長）シルバー人材センターで高齢者の雇用をしている。各種事業への会員登録をしていただき生きがいづくりも含めて活用してほしい。

問 ICT技術者やものづくり専門家等への支援はあるか。

また包括協定している企業とのマッチングは考えられないか。

答（まちづくり課長）資格や意欲などを地域に活かし、雇用をどう作り出すか調査が必要だ。企業では人材不足もあり、雇い主の情報を収集し、どんな支援が出来るか今後考えていく。

問 高齢者の生活での困りごとの対応は

答（町長）多種多様であり民生委員さんが受けた相談は町や社協が連携して対応していきたい。

答 雇用のマッチングを検討する

シニア世代の就業意欲で生涯現役！

大森秀久議員

生活保護の方や生活困窮者に、上下水道料の減免を行う考えはないか

答 水道法と下水道法及び公営企業法には福祉減免の規定はない

問 生活保護利用者や生活困窮者、住民税非課税世帯などに、上下水道料金の減免を行う考えはないか伺う。

答 （町長）地方公共団体で経営される水道と下水道事業は、一般会計から独立して運営されその費用は利用料で賄うとされており、水道法と下水道法及び公営企業法には福祉減免の規定はない。

問 減免について他の自治体の状況について調べたか。

答 （水道課長）玉名管内につき調査し、減免等を行っていることはない。

問 全国的には、さまざまな条件をつけその上で、先程の方以外にもひとり親世帯、児童手当を受けている世帯等を対象に取り組んでいるところがある。私は社会的弱者に優しい町であってほしいと思う。本年は5年に一度の生活保護基準の見直しが行われるが、就学援助や障がい福祉サービスの負担分、保育料基準等はどうなるか伺う。

答 （町長）生活保護基準の見直しは、生活扶助基準や加算について実施される。詳細な内容は県より福祉事務所に説明がある3月22日以降になる。

問 生活保護の申請者が申請資格のある人の20％にとどまっていると聞くが、制度の周知という意味では対応は出来るか。

答 （福祉保健介護課長）あらゆる機会、特に考えているのは、密接にかかわる民生委員も含め、情報を上げてもらうなかで周知をはかりたい。

小規模営農者へ 町独自の支援が出来ないか

答 町独自の助成は考えていない

問 農業振興の上で小規模のところに、赤字にならないような手を打てないか。

答 （農林水産課長）補助金なしでは採算はとれないのが現状で、費用対効果とか実入りとかが望めないとも聞く。小規模者に関して非常に難しいのだが、二毛作助成は町独自では考えていない。

問 小規模農家の方が一定数集まり法人化する場合、他所では法人化の定款作成とか登記に費用の助成をやっている。町ではそこも含めどう考えるか。

答 （農林水産課長）農業法人を立ち上げる話があれば、条件に合わせＪＡも一緒になって協力していきたい。

世帯類型別の見直しの主な影響

世帯類型	居住地域	①現行基準額	②予想額	②/①増減率
高齢単身世帯（65歳）	都市部	80,000円	76,000円	95.0%
	地　方	64,000円	63,800円	99.7%
高齢夫婦世帯（65歳）	都市部	119,000円	118,000円	99.2%
	地　方	96,000円	103,000円	107.3%
夫婦と子1人（30代、子3～5歳）	都市部	158,000円	155,000円	98.1%
	地　方	130,000円	136,000円	104.6%
夫婦と子2人（40代、小中学生）	都市部	205,000円	196,000円	95.6%
	地　方	164,000円	159,000円	97.0%
母子世帯、子1人（30代親、小学生）	都市部	147,000円	149,000円	101.4%
	地　方	122,000円	131,000円	107.4%
母子世帯、子2人（40代親、小中学生）	都市部	200,000円	192,000円	96.0%
	地　方	165,000円	166,000円	100.6%

＊都市部　1級地-1（東京23区）＊予想額は厚労省試算等から作成
＊地方　3級地-2（玉名市、長洲町など）

一般質問の原稿は、質問者の提出原稿をもとに一部校正しています。

竹本信次議員

現在町政が向かっている道はどこか

答 誰もが「住んでよかった」と思えるまちを目指したい

問 厳しい財政状況、社会保障費や施設の維持・管理、庁舎・道路・下水道等の各施設の老朽化による更新費の増加や地方財政の限界等、課題が山積している長洲町。
今の町政はどんな方向に向かっているか。

答 （町長）
定住、教育、福祉、産業の各分野を重点的に取り組み、地方創生を一層推進し、「住みたい、ながす」をつくることを目標に、各種事業を実施し、町政を運営している。

これから“長洲のまち”をどうする

問 今、少子高齢化と介護による家庭崩壊の危機が急激に進んでいる長洲町。現状から見る暮らしの課題を考えれば、住民が何に魅力を感じ、住んで良かったと満足し、世代を越えて住み続けたいと、思えるか。

答 （まちづくり課長）
少子高齢化や社会保障費が急速に伸び、様々な課題等がある。今後の事業展開については、財政状況等を考慮しながら、町民の皆様が安全に安心して生活できることを最優先に取り組みたい。

介護保険制度改正で 高齢者支援はどうなる

答 げんきの館を中核に地域支え合い体制づくりを目指したい

問 高齢者が住み慣れた地域で、最期まで自分らしい生活を送ることができるように、医療と介護の懸け橋となる地域包括ケアシステムをどのように推進しているか。

答 （町長）
認知症の啓発活動から最期まで、在宅医療と介護の連携強化で高齢者支援の取組を推進し、げんきの館を中核に地域支え合い体制づくりを目指している。

地域支え合い活動の推進を

問 介護保険法が大きく改正され、新しく新設された制度である地域づくりの協議体とは、どういうものか。
また、新しい町民参加型の福祉をつくりあげる旗手である生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の機能と役割とは何か。

答 （福祉保健介護課長）
現在、介護予防拠点等連絡協議会を協議体とし、地域で支え合いの仕組みづくりを目指している。コーディネーターは、地域で不足している高齢者に向けたサービスを新たに発掘、開発し、生活支援の担い手となる者の育成が主な役割である。

荒木睦子議員

食育を推進する町の状況と取り組みは

答 食育活動の周知と普及啓発に取り組む

問 食を通して元気な長洲まちづくりを基本理念に食育を推進しているが、町の状況と取り組みを伺う。

答 （町長）取り組み事例集を作成し、それぞれの団体が協働して食育活動を行っている。

問 食育を推進していく上で、課題や重点的に取り組んでいることは。

答 （福祉保健介護課長）子ども期における適正体重にない児童がいることを考え、朝食を含む3食をとり、栄養バランスを考慮した食事のあり方を普及していく必要性があり、食生活改善推進員さん、町の栄養士が簡単につくれる野菜レシピ集を作成したり、講話を実施している。

おいしい給食いただきます!!

問 特に子どもたちに食育の推進という面において、給食センターのあり方をどんなふうに考えているか。

答 （町長）食育を推進する上で、学校給食の提供はとても重要なことであると考えている。

新給食センター建設についての議題が挙げられ、荒尾市、長洲町で新施設の建設に向けて一緒に検討していく。

妊婦の歯周病予防に対しての支援は

問 その支援を受けられる歯科医院を町外、玉名郡市や荒尾市圏内などに広げることはできないか。

答 （福祉保健介護課長）玉名郡市の歯科医師会や荒尾等の歯科医師会と検討していく。

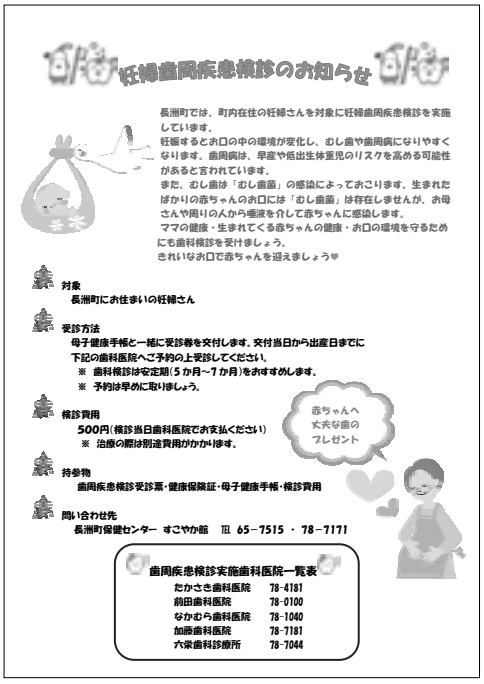
答 ワンコイン（500円）の自己負担で受診を

問 妊婦さんの歯科検診について、妊娠中には女性ホルモンの増加で歯周病が活発化し、女性の人生の中で最も歯周病になりやすい時期である。これに対して町では、どのような支援を行っているか。

答 （町長）安定期に入り妊婦がワンコイン500円の自己負担で歯科検診を受診できる体制を整えている。

問 町の歯科医院で検診を受けられるのは何カ所あるのか。

答 （福祉保健介護課長）5カ所である。



母子とも健康を願って

町政を問う

一般質問の原稿は、質問者の提出原稿をもとに一部校正しています。

磯野　博議員

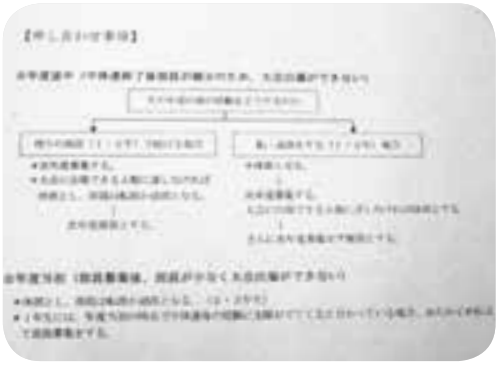
人数不足で部活動の選択の自由を奪っていないか

答15人学級とかを私は進めていきたいと思っている

問　子どもたちの教育環境のさらなる向上のために、小中一貫校あるいは中学校の統合など、懐を深く大きな視点での教育環境のあり方について伺う。

答　（教育長）

子どもたちは、小学1年生から中学3年生までの義務教育9年間の中で、日々の学習を積み上げて成長していくが小中学双方の教職員が9年間の全体像を把握し、系統的・連続的に配慮した教育活動に取り組み、各地域の実情に応じた教育の充実が求められている側面もある。小中一貫校あるいは学校の統廃合を検討するに当たり、導入に関しての教育上のメリットやデメリット、地域の実情を分析し、対応していきたい。



人数不足で存続の危機

問　子どもの数、出生数の推移、将来の見通しは。

答　（まちづくり課長）

近年の出生数は130名前後で推移しており、今後も同数を目標に取り組んでいる。

問　長洲中と腹栄中の生徒数の推移は。

答　（学校教育課長）

平成15年で長洲中225名、腹栄中340名。平成35年には長洲中151名、腹栄中206名程度を見込んでいる。

問　両中学校の部活動の現状は。

答　（教育長）

私も心配しているところだ。学校の部活が減ってきているというのは事実だ。廃部の話は今のところ聞いていない。

問　部員数が少なくて部費が高過ぎるという声もあるが。

答　（教育長）

人数が少なければ負担は大きくなると思う。

問　部活動の選択の自由を大人が奪っていないか。子どもが犠牲になってないか。

答　（町長）

教育とは何ぞやという視点から統廃合は考えなくてはならない。徳育・知育・体育、これを学ぶべき場である。むしろ15人学級とかこういうのを私は進めていきたいと思っている。それは先生が一人一人目の行き届く、その子どもに対して十分対応できる、よりきめ細やかな、生徒の中で教えていくことこそ教育だと思う。

検証を重ね真剣に取り組むべき時期が来ているのではないか

答教育委員会議で資料をそろえて検討する

問　今後の子どもたちの将来状況、過去・現在・未来と続く学校施設管理費を含めた経常経費、教育環境のIT化の整備、まちづくりの再設計、本町の生き残りをかけて真剣に検討、検討、取り組む時期ではないか。

答　（教育長）

教育委員会議では、資料もそろえて検討していきたい。

生き残りをかけた戦いは始まっている

松井一也議員

国際交流の観点から姉妹都市・友好都市提携の検討を

答 町の資源・魅力を生かした交流が重要になるが、財政・人的な面を考慮し検討したい

問 本町では、外国に関心を持ち国際的視野を広げ、将来世界で活躍する人材の育成を目指して、平成29年度から小学校で実施している英語科をさらに充実させ、幼児から中学生まで切れ目なく英語を学ぶ環境を整えていくと町長は施政方針で示されている。その国際的視野を広げるための手段として、姉妹自治体交流は住民が参加できる機会も多いことから国際交流施策の中核として重要なものとなっている。現在では、姉妹自治体交流を通じて、儀礼的な友好親善を目的とするものにとどまらず、共通の目的を持ち、相互協力まで発展しているものもある。そこで、国際交流の観点から本町でも姉妹都市・友好都市提携を検討してはどうか。

熱心に学ぶ子どもたち

答（町長）現在、本町と姉妹都市・友好都市として締結している都市はない。国際化が急速に進む今日、町の資源・魅力を生かした交流が重要になってくるかと思うので、友好都市については、財政面や人的な面を考慮し検討したい。

町の地域産業が外国に目を向けたときにどのような交流が考えられるか

問 姉妹都市・友好都市には友好親善のみならず、人的交流、文化交流、技術経済交流といった共通目的を持ち、相互協力まで発展しているものもあると聞く。本町で地域産業が外国に目を向けたときにどのような交流や相互協力が考えられるか。

答 町の資源をどう生かしていくか、それが一番重要となる。それがアジア圏やヨーロッパ圏に対して、互いに需要等があれば、本当に意義ある交流が生まれてくるのではないかと考えている。その際に行政だけではなく町内関係者の皆さんが関心を持ち、ともに盛り上がっていくことが重要だと思う。そういう盛り上がりと財政的な負担等も必要となってくるので総合的な検討が必要だと現在は考えている。（まちづくり課長）

互いに需要等があれば、本当に意義ある交流が生まれる

自治体	提携自治体	国・地域名	州・省・県等名
熊本県	広西壮族自治区	中国	
	忠清南道	韓国	
	モンタナ州	アメリカ合衆国	
玉名市	瓦房店市	中国	遼寧省
	クラリンダ市	アメリカ合衆国	アイオワ州
大津町	アラパホ市、ヘイスティング市	アメリカ合衆国	ネブラスカ州
	ピエダーデ、サレゾポリス	ブラジル	サンパウロ州
和水町	公州市	韓国	忠清南道
相良村	セント・ヴァレンタイン村	フランス	サントル・ヴァル・ド・ロワール州アンドル県

（一般財団法人　自治体国際化協会　HP抜粋）

一般質問の原稿は、質問者の提出原稿をもとに一部校正しています。

濱﨑　久議員

浦川改修に伴う冠水対策はとっているか

答 治水は常に考え対応する

改修された浦川

問 浦川改修後、冠水被害が生じている。町は冠水対策の一環として、セセナギ（通称ゼーナギ）の分筆払い下げを拒否したが、このことは浦川右岸に冠水による農作物の被害があることを充分承知していると捉える。認識はどうか。

答 （町長）改修後、浦川右岸地域の建物床下浸水はあっていない。

問 ビニールハウスで花の栽培をしていた農家の話では、一度冠水すると花は枯れて全滅するといわれる。野菜も腐れるといわれるが、事実か。

答 （農林水産課長）資料によれば、冠水の時間、作物の種類による。

問 質問は事前通告している資料を提示ください。

答 （農林水産課長）申し訳ないが被害指標の資料はありません。

問 いいかげんな答弁は慎みなさい。休憩前と後では又、答弁が変わっている。

答 （農林水産課長）申し訳ない。

問 浦川上流の荒尾市は耕地整理で改修工事を行ったと聞いている。下流の長洲町は上流の洪水を当時の嘉永川に流す政策をとり、そして、長洲中学校の校歌にもある嘉永川を消滅させた。
　今思えばこの政策は失敗と思うが。

答 （農林水産課長）今指摘されたことを肝に銘じて、治水対策に取り組む。

消防4分団の格納庫、出動不便の解消は出来たか

答 用地取得に努力する

問 前からの質問で町長は4分団の消防格納庫からの出動は不便な状態にあるのは認識されている。
　私の提案も含めて検討しているのか、もう3年たった。その間、町長選も行なわれたが出来たか。

答 （町長）用地が未解決である。

問 3年間で3回しか交渉していないのか。町長の施政方針は、チャレンジ精神とスピード感で実行するとあるが反しないか。

答 （町長）今後粘り強く対応していく。

前田美和子議員

向野緑地公園前の歩道を早急に

答 今年度調査していく

問 通学路は、安全でなければいけない。通学路の危険箇所は把握されているか。

答 （教育長）通学路交通プログラムを策定し、ホームページで公表している。

問 六栄保育所前を通り緑地公園から出てくる所は、208号線に続く道で下り坂カーブとなっており、狭く危険である。早急に歩道が必要だと考えるが。

答 （建設課長）歩道等による安全対策の必要性を認識している。今年度調査測量を行い、対策を検討する。

危険がいっぱい

問 「通学路」「徐行」などの看板の設置やカラー塗装を行い、危険地域と明記してはどうか。

答 （建設課長）ドライバーへの注意喚起については、検討する。

さらなる子どもたちのスポーツの振興を

答 放課後居場所づくりのプログラムに盛り込んでいく

問 生き生きとした町づくりの為に、スポーツの振興が大切だと考える。スポーツの振興について伺う。

答 （町長）町では、「スポーツの力で活力ある町づくり」を目指し、だれもがスポーツを楽しみ、またスポーツ活動を支援する環境づくりを進めている。

問 子どもたちが、夢に向かって元気に頑張る為には、スポーツの振興が重要ではないか。

答 （教育長）基本は、学校の授業だと考える。また本町には、多くのスポーツ団体があり、素晴らしい環境となっている。いろいろなスポーツを体験してほしい。

問 平成28年度より小学校の部活動は社会体育へと移行している。送迎も苦慮している中、スポーツの盛り上がりはどうか。

答 （生涯学習課長）スポーツクラブやにこにこクラブが受け皿になっている。各種スポーツクラブと連携を図りながらスポーツを盛り上げていく。

問 今年度より放課後居場所づくり事業が始まる。その中にスポーツ活動を取り入れてはどうか。

答 （生涯学習課長）学童保育と放課後子ども教室を一体的に取り組む放課後居場所づくりのプログラムの中にスポーツ活動を盛り込んでいきたい。

スポーツでいい汗ながそう

赤田上沖洲線の方向性は

答 （町長）南関町、荒尾市、長洲町を結ぶ縦軸として物流、観光面の発展に必要な道路である。検討会を設置し協議を進める。

一般質問の原稿は、質問者の提出原稿をもとに一部校正しています。

町民のひろば

町民の声

山内　順子さん（高田区）

私達の詩吟の会は、「有凰流吟道瑞陽会（ゆうおうりゅうぎんどうずいようかい）」と申します。長洲町内には、清源寺支部・永塩支部・高田支部の３つの支部があり、山本有恵会長指導のもと、「和」をモットーに各地区の公民館で毎週練習に励んでおります。

詩吟は、礼を尊び、漢詩や日本詩の歴史上の作者の心に触れ、腹式呼吸でお腹の底から声を出すことにより、精神修養と健康増進に繋がっています。

興味のある方は是非近くの会場に気軽に遊びにおいでください。お待ちしています。

傍聴席から一言

森本　隆聖さん（清源寺区）

小学生のころ長洲町に引っ越してきて、それ以来ずっと長洲町に住んでいますが、町議会がいつどこで開かれているのか知りませんでした。今回、傍聴をさせていただき議員の方々が町、町民のために真剣に取り組まれているのが伝わってきました。時折、質疑応答のすれ違いや、長めの休憩等ありましたが、役場の方と議員の方が互いを理解しようとし、切磋琢磨することで、より住み良い町づくりが成されるよう、一町民として願っています。

ひと言

春が来た。草花の息吹に、特にさくら、開花、満開、散り際に接し「感動」します。そして、おもてなしの詰まった入学式、卒業式、そこに参列させていただき「感動」しました。先日閉幕した平昌オリンピック・パラリンピックのメダルラッシュは、もちろん！そこに参加に至るまでの選手のドラマに多くの「感動」をもらいました。さて議会だより「潮さい」の発行も、町民の皆様に解かりやすく少しでも「感動」を与えられるよう広報委員一同努力してまいります。（中川）

皆さん傍聴に出てこんね！

次の定例会は

6月18日(月)

開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先

議会事務局

電話　78-3291

手続きは住所・氏名・年令を書くだけです

お詫びと訂正

2月発行の議会だより「潮さい」に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

6ページ
(誤)既在バス路線
(正)既存バス路線
11ページ
(誤)地方贈与税
(正)地方譲与税

発行責任者 議長 徳永 範昭
編集 議会広報調査特別委員会
委員長 濱村 芳光
副委員長 前田美和子
委員 中川 雅明
委員 大森 秀久
委員 荒木 睦子
委員 磯野 博
委員 福永 栄助

〒869-0198 熊本県玉名郡長洲町大字長洲2766
TEL 0968-78-3291
FAX 0968-78-1092